

# ～闘魂記～

「闘魂」…魂をもって闘おうとする気持ち

西東京市立ひばりが丘中学校第3学年

第45号 2024年 11月1日(金)

学年目標 「自主・自立」

## 「 1日シュート600本 成功 」

NBAグリズリーズの河村勇輝選手が、田臥勇太選手、渡辺雄太選手、八村塁選手に続き日本人4人目のNBAデビューを果たしました。Bリーグ（日本のプロバスケットリーグのこと）出身では初の快挙で、日本バスケット界に新たな歴史を刻みました。

河村選手は中学時代、全国ではほぼ無名の選手でしたが、全国制覇9度を誇る福岡第一高校の井手口監督が声を掛け続け入学を決めました。バスケットボールのセンスはもちろんのこと、その努力はとてつもないものがありました。全体練習後、自ら課した「1日シュート600本成功」を達成するために黙々とシューティングを繰り返しました。そんな河村選手もU16の日本代表に招集されてから、思い上がり反抗的な態度をとるようになり、チームから距離を置かれ試練を味わいました。その後は自分の態度を見直して練習に取り組み、高校界にとどまらずバスケット界に名が知れ渡るまで成長し、ついに世界最高峰のNBAの舞台をつかみ取ることができました。

先日、中学校生活最後の合唱祭が行われました。3年生の合唱に「感動」しました。またその姿から日々の練習の成果と3年間の成長を実感しました。後日、最優秀賞、優秀賞のクラスは中原小学校の6年生に自由曲と課題曲を披露しました。合唱を聴き涙した小学生もいました。また、中原小学校の先生方からも「素晴らしい合唱をありがとうございました。」と何度も感謝されました。

合唱祭が終わり2週間が経とうとしています。戦う舞台、環境は違えども、次は期末考査という舞台が待っています。その結果によって第3回最終面談で志望する学校がほぼ決定し、その後は入試に向けて、腰を据えて歩み出すこととなります。このようにここから先、皆さんは乗り越えなくてはいけないさまざまな舞台が待っています。どんな舞台でも、合唱で感動を与えたように、NBAという夢をつかみ取ったように、日々の努力の積み重ねに勝るものはありません。試験前で学習時間も増え、大変な時期に差し掛かっていますが、河村選手のように自ら課した課題を精一杯取り組み、「Hang in there」の精神で勝負できる3年生であってほしいと思います。

※Hang in thereとは…闘魂記43号に詳細が載っています。

### 保護者の皆様へお知らせ

10月28日（月）に調査書記載事項希望申請書（緑色の用紙）を配布いたしました。11月8日（金）が〆切となっていますので、ご確認よろしくお願いたします。

### 「とある先生の日常」

I先生は進路指導主任として、進路保護者会・復習確認テスト・進路学習など進路についてさまざまことを学年の中心となって取り組んでいます。第2回三者面談も終わり、現段階での生徒たちの進路先や調査書記載事項希望申請書をまとめ次の最終面談の準備に取り組んでいます。そんなI先生は、生徒たちが進路に向かって自分の足でしっかりと歩んでいけるよう、生徒一人一人に寄り添い続けていきます。